

辺のクロイヌノヒゲ類が同種かどうかということである。これはナスノクロイヌノヒゲ *E. nasuense* と呼ばれる分類群にも関係してくる。さらにツクシクロイヌノヒゲについても岡山県の重田池などでは黒色花と褐色花が同所的に出現する。このようにそれぞれの地域に密着した課題がまだ多いように思われる。

下記の方々からは調査地の案内や標本の恵与を賜りました。心から御礼申し上げます。

(北海道) 中居正雄・高島八千代・五十嵐博・笈田一子・大館和広・橘ヒサ子、(青森県) 細井幸兵衛、(福島県) 薄葉満・樋口利雄、(栃木県) 野口達也、(兵庫県) 鈴木武・宮部満、(岡山県) 狩山俊悟、稲若邦典、藤野睦子

最後になりましたが電子顕微鏡の利用を許された秋田県総合教育センターと技術を提供された角田昭先生に感謝申し上げます。

参考文献

- Hara, H. 1938. Flora of Southern Hidaka, Hokkaido XXXI. Bot. Mag. Tokyo 52:400-401.
- 樋口利雄ほか, 1993. アズマホシクサについて. フロラ福島 No. 11:1-5.
- 笠原安夫, 1976. 走査電子顕微鏡で見た雑草種実の造形. 養賢堂, 東京.
- 北村四郎ほか, 1964. ほしくさ科. 原色日本植物図鑑下 pp. 175-185, Pl. 48 保育社, 大阪.

- Koyama, T, 1965 *Eriocaulaceae*. in Ohwi's Flora of Japan pp. 265-270.
- Ma Weiliang, 1997. *Eriocaulaceae*. in Flora Republicae Popularis Sinicae Tomus 13(3): 20-63.
- 宮本 太, 1989. ほしくさ科 (ニッポンイヌノヒゲ・クロイヌノヒゲ). 改訂増補牧野新日本植物図鑑 p. 902 北隆館, 東京.
- , 1999. 湿地の植物. プランタ No. 64: 21-29.
- Nishikawa, T, 1993. Chromosome Numbers of Seven Japanese *Eriocaulon* Species. J. Jpn. Bot. 68: 88-93.
- 佐竹義輔, 1940. 大日本植物誌 6 ほしくさ科. 三省堂, 東京.
- , 1943. ホシクサ属の一新種. 植物分類地理 13: 280-281.
- , 1952. ホシクサ属雑記(1) 植研 27: 4-8.
- , 1964. 植物の分類. 第一法規, 東京.
- , 1982. ホシクサ科. 日本の野生植物 I pp. 75-83 平凡社, 東京.
- 高田 順, 1994. 秋田県のホシクサ属植物. 水草研究会会報 No. 52: 16-29.
- , 1996. ホシクサ属数種の種子形態(1). 水草研究会会報 No. 58: 18-24.
- , 1998a. ホシクサ属数種の種子形態(2). 水草研究会会報 No. 63: 29-34.
- , 1998b. 秋田県におけるホシクサ属植物の問題点(2)—シロバナミヤマヒナホシクサ—. 秋田自然史研究 36: 1-7.
- 滝田謙讓, 1987. 東北道の植物. カトウ書館, 釧路市.

○兵庫・水辺ネットワーク企画・編集『オニバス文献集』(明石市発行, 2000年3月, A4, 227p, 非売品)

オニバスの生態や現状に関する既存文献54件を複写により集録した資料集であり, 文献は1925年から現在までに及んでおり, 複製が困難なものをのぞけば重要なものはほとんど網羅されている。

原典にあたるのが困難な文献も幅広く収められているので, オニバスの調査や保全に取り組む上では, たいへん貴重な拠り所になるであろう。

このような資料の発行に理解と協力を惜しまれなかった明石市当局に敬意を表する。

(角野康郎)